

消 防 年 報

(平成 22 年版)



七夕の晩にライトアップされた「三国街道塩沢宿」



南 魚 沼 市 消 防 本 部

まえがき

この消防年報は、南魚沼市消防における主要な消防業務と現有消防力について集録し、消防業務について広く理解を求めるとともに、多方面にわたり資料として利用されることを願って編さんしたものであります。

各表は、主に平成 22 年 12 月 31 日現在をもって作成されていますが、これによらない表及び単位については必要に応じ各表の上部に記載してあります。

〈市町村合併について〉

平成 16 年 11 月 1 日に六日町と大和町が合併し、南魚沼市が誕生しました。平成 17 年 10 月 1 日には南魚沼市と塩沢町が合併し、新・南魚沼市となりました。

このことから平成 18 年 3 月 31 日に南魚沼地域広域連合を解散し、同年 4 月 1 日から湯沢町における消防事務（消防団事務を除く。）を受託。名称を南魚沼市消防本部と改名し、現在に至っております。

なお、平成 19 年 4 月 1 日から旧町（塩沢町、六日町、大和町）3 団が南魚沼市消防団の 1 団体制となり、六日町方面隊、大和方面隊、塩沢方面隊に編成されました。

平成 23 年 3 月

南魚沼市消防本部

構成市町の章



南魚沼市



湯沢町

目 次

あ ゆ み

(庶務・消防団関係)

1. 概 要
2. 南魚沼市消防本部機構
3. 歴代管理者・広域連合長・市長・消防長・署長
4. 職員階級別配置状況
5. 職員階級別年齢状況
6. 職員の特殊技能、その他資格取得状況
7. 職員研修受講状況
8. 主な業務
9. 平成22年度南魚沼市消防費予算状況
10. 消防相互応援協定
11. 歴代消防団長
12. 消防団の主な業務
13. 消防団員の階級・在職年数別等年齢状況
14. 消防団員入退団の状況
15. 消防団員報酬・報償金
16. 消防団別の主な表彰歴
(予防関係)
17. 火災出火状況
18. 火災種別出火件数
19. 曜日別火災出火件数
20. 月別火災出火件数
21. 原因別火災出火件数
22. 原因別出火件数
23. 時間帯別出火件数
24. 火災出火件数の推移
25. 市町別防火対象物数・防火対象物立入検査実施状況
26. 防火管理者選任状況・消防訓練指導状況
27. 業態別中高層防火対象物数
28. 消防用設備等検査状況
29. 建築同意状況
30. 市町別中高層建築物数

31. 幼年消防クラブ結成状況
32. 少年消防クラブ結成状況
33. 婦人防火クラブ結成状況
34. 防火管理者資格付与講習会受講者数の推移
35. 南魚沼地域防火協会、団体数、会員数の推移
36. 危険物施設数・危険物施設の許可・検査実施状況
37. 危険物製造所等の申請、届出事務処理状況
(警防関係)
38. 災害等出動状況
39. 市町別救助出動状況
40. 警防調査実施状況
41. 消防訓練実施状況
42. 消防施設の現況
43. 消防ポンプ自動車等現有状況 (消防団)
44. 公設消防水利の現状
45. 公設消火栓管径別設置状況
46. 消防装備配置状況
47. 月別気象状況
48. 過去 3 ヶ年の月別降水量
49. 過去 3 ヶ年の月別平均気温
50. 過去 2 ヶ年の積雪深
51. 災害種別受信件数
(救急関係)
52. 市町別救急出動状況
53. 月別事故種別出動状況
54. 月別署・分署別救急出動状況及び搬送人員数
55. 年齢別傷病者搬送状況
56. 事故種別搬送人員
57. 事故種別出動状況
58. 月別疾患別搬送状況
59. 救急隊の行った応急処置状況
60. 応急手当普及啓発活動状況
61. 医療機関別収容回数及び人員数
62. 年齢別重傷度
63. 傷病別搬送時間
64. 時間帯別出動状況

あゆみ

- | | | |
|-------|----------|---|
| 昭和44年 | 4月 1日 | 六日町・塩沢町消防事務組合発足（職員4名） |
| | 8月 7日 | 塩沢町立舞子小学校火災 |
| | 8月12日 | 水害六日町対策本部設置 |
| | 12月 | 消防庁舎完成（第1期） |
| 昭和45年 | 1月 1日 | 消防署発足・業務開始（職員署長以下25名） |
| | 3月 | A級救急車導入 |
| | 8月 | B級救急車寄贈される |
| | 12月 | 水槽付消防ポンプ車導入 |
| 昭和46年 | 7月26日 | 県立六日町高校火災 |
| | 10月 1日 | 中部消防応援協定締結 |
| | 11月 3日 | 六日町市街地火災（2棟死者1名） |
| 昭和47年 | 4月 1日 | 湯沢町・大和町加入し組合名称を魚沼消防事務組合に改称 |
| | 10月 1日 | 湯沢町・大和町に分署庁舎完成 業務開始（職員16名を採用・両分署にポンプ車・救急車を配置） |
| 昭和48年 | 2月18～21日 | 塩沢町で第28回国民体育大会冬季大会開催 期間中石打分遣所設置 |
| | 4月 | 湯沢分署・大和分署に広報車配置 |
| | 7月 | 消防審議会発足 |
| | 9月29日 | 中部消防応援協定協議会救助訓練（六日町） |
| | 10月30日 | スノーケル車（16m級）本署に配置 |
| 昭和49年 | 1月 | 消防本部・署庁舎増築（第2期） |
| | 2月18日 | ホテル火災（六日町） |
| | 4月 1日 | 南魚沼郡休日救急外科在宅当番制開始 |
| | 10月20日 | 新潟県総合防災訓練を六日町で開催 |
| 昭和50年 | 1月20日 | プロパンガス爆発事故（塩沢町大字関 死者1名、負傷者3名、全壊1戸、損壊11戸） |
| | 4月 1日 | 消防署 隔日勤務を2交代制から3交代制に移行 |
| 昭和51年 | 2月 3日 | 泡放射砲を購入し本署に配置 |
| | 6月 1日 | 消防の一部事務組合を解散し、南魚沼郡広域事務組合と合併する。 |
| | 9月30日 | 本署配置の水槽車を化学車に改造 |
| 昭和52年 | 1月 7日 | 六日町豪雪対策本部設置 |
| | 7月15日 | トンネル火災（上越新幹線湯沢北工区 負傷者40名全員救出） |
| 昭和53年 | 2月 | ドア付ポンプ自動車本署に配置 |
| | 2月 | 豪雪対策本部四町に設置 |

- 4月 1日 第1次消防整備計画策定
- 6月26日 魚沼地方集中豪雨
- 8月20日 第29回新潟県消防大会を六日町で開催
- 10月 湯沢分署・大和分署庁舎増築
- 10月 5日 プロパンガス爆発（大和町大字浦佐 死者1名、負傷1名、全壊1戸、損壊11戸）
- 昭和54年12月27日 ホテル火災（湯沢町大字湯沢）
- 昭和55年 2月16日 六日町豪雪対策本部設置
- 3月17日 湯沢町に無線サイレン吹鳴装置設置
- 3月28日 救急医療情報システム導入
- 7月18日 南魚沼郡防火協会設立
- 11月27日 消防100年記念消防団全国大会開催（東京）
- 昭和56年 1月 6日 56豪雪 豪雪対策本部四町に設置
- 2月 9日 スキー場で雪崩（六日町大字坂戸 軽傷者1名）
- 2月 消防本部・署庁舎増築（第3期）
- 6月21日 広域消防10周年記念式典開催
- 7月 3日 六日町消防団 坂戸スキー場の雪崩災害で県知事表彰
- 8月23日 集中豪雨により六日町の魚野川氾濫被害発生
- 10月 1日 防火対象物表示公示制度の施行
- 12月20日 消防庁C型救急指令装置導入及びテレホンガイドサービス開始
- 昭和57年 3月 3日 魚沼消防本部・六日町消防団 消防庁長官表彰旗受章
- 4月 1日 利根沼田広域市町村圏整備組合と、消防相互応援に関する協定締結
- 11月15日 上越新幹線開業
- 12月 4日 休日診療所を六日町保健センターに移設
- 昭和58年 4月 1日 第2次消防整備計画策定
- 9月 本署ポンプ自動車（CD-II）更新
- 10月26日 関越自動車六日町ICまで開通
- 12月11日 工場火災（六日町大字泉）
- 昭和59年 2月 8日 59豪雪 豪雪対策本部四町へ設置
- 2月29日 雪崩災害（湯沢町大字湯沢 湯元 民家直撃2名救出）
- 4月 1日 第2次病院群輪番制、休日夜間救急診療開始
- 4月11日 救助隊編成
- 6月12日 救助訓練塔完成
- 9月15日 新潟県総合防災訓練を湯沢町で開催
- 11月 8日 関越自動車道湯沢ICまで供用開始
- 12月17日 湯沢町消防団 消防庁長官特別表彰を受章（雪崩災害救助活動）

昭和60年	2月17日	ホテル火災（湯沢町大字湯沢）
	9月26日	第1回関越トンネル総合防災訓練開始
	12月	本署、化学消防ポンプ自動車更新
昭和61年	11月11日	六日町少年婦人防火委員会設立
昭和62年	2月26日	本署に大型救助工作車配置
	11月6日	湯沢分署・大和分署に水槽付消防ポンプ自動車配置
昭和63年	3月3日	JR上越線湯沢町土樽地内で展望列車「アルカディア号」火災発生
	4月1日	第3次消防整備計画の策定
	12月4日	ビル火災（湯沢町大字湯沢西中 死者2名）
昭和64年	1月7日	昭和天皇崩御、翌日8日に平成と改元
平成元年	4月1日	消防緊急情報システムⅡ型導入及び順次指令装置、新テレホンガイド導入
	9月1～7日	管内リゾートマンション特別査察
平成2年	1月1日	新潟県広域消防相互応援協定締結
	3月8日	塩沢町消防団 消防庁長官表彰旗を受章
	3月20日	指令室に地図検索装置及び自動気象観測装置を導入
	6月6日	日本消防協会東北支部消防連絡会議開催（湯沢町）
平成3年	2月17～20日	塩沢町・六日町で第46回国民体育大会冬季大会開催
	6月23日	広域消防20周年記念行事開催
平成4年	1月10日	湯沢分署新庁舎移転、業務開始
	4月3日	南魚沼幼少年婦人防火委員会設立
	6月1日	本署指令車更新
	9月6日	六日町婦人防火クラブ結成
	12月16日	湯沢分署はしご付消防自動車（35m級）を配置
	12月28日	本署消防ポンプ自動車（CD-1）更新
平成5年	3月3日	湯沢町消防団、消防庁長官表彰旗を受章
	4月1日	第4次消防整備計画策定
	6月8日	救急車に患者搬送装置（プロパックモニター）を装備
	7月19日	本署、防火広報車を導入
	11月	湯沢分署、救助訓練塔完成（主塔、副塔）
平成6年	12月1日	各団に小型動力ポンプ付軽積載車を貸与
	12月15日	大和分署、新庁舎移転 業務開始
平成7年	4月1日	新潟県消防防災ヘリコプター運用開始
	9月1日	塩沢町婦人防火クラブ結成
	9月1日	大和分署、県消防防災ヘリコプター給油施設設置
	11月29日	本署、消防車庫棟新築
平成8年	2月8日	湯沢分署、消防ポンプ自動車（兼救助工作車）更新配置

- 4月 1日 南魚沼郡山岳遭難防止対策協議会へ加入
- 5月31日 放射能防護服、放射能測定器配備
- 6月 8日 本署、指令車更新
- 12月7～9日 長野県蒲原沢土石流災害現場へ応援出動（第1次隊）
- 12月12～14日 同上（第5次隊）
- 12月20日 本署、はしご付消防自動車（25m級）を配置
- 平成 9年 6月 5日 本署、積載車更新
- 8月 7日 湯沢分署、指令車更新
- 8月 8日 大和分署、指令車更新
- 8月28日 大和分署、救急車更新
- 9月11日 湯沢分署、救急車新規購入2台体制となる。
- 平成10年 3月 7日 自治体消防50周年記念式典（日本武道館）
- 3月10日 本署、高規格救急車更新
- 4月 1日 第5次消防整備計画策定
- 4月 1日 六日町病院に「心電図伝送受信装置」を設置
- 10月28日 携帯電話から119番通報運用開始
- 10月 台風10号郡内に被害
- 平成11年 1月20日 本署、小型ポンプ付水槽車を新規配置
- 12月14日 本署、救急車更新
- 平成12年 2月 4日 湯沢分署、高規格救急車を新規配置
- 3月13日 本署、化学車更新
- 4月 1日 関越トンネル内救急業務を道路公団より引き継ぐ
- 5月31日 湯沢分署、積載車更新
- 平成13年 1月 1日 本署、非常用自家発電設備を設置
- 1月 4日 中越地区地震
- 2月12日 スキー場で雪崩災害（大和町大字五箇 軽傷者1名）
- 3月19日 南魚沼郡広域事務組合を解散し、南魚沼郡広域連合を設立
- 4月 1日 指令室指令台「消防緊急通信施設（Ⅱ型）」に更新及び新発信地表示システムを導入
- 8月 六日町欠ノ上地内に県消防防災ヘリコプター緊急離着陸場を設置
- 12月25日 塩沢町消防無線サイレン新設
- 平成14年 3月 9日 本署、救助工作車更新
- 4月 1日 南魚沼メディカルコントロール協議会設立
- 11月26日 大和町婦人防火クラブ結成
- 平成15年 4月 1日 第6次消防整備計画策定
- 8月24日 第54回新潟県消防大会を湯沢町で開催

- 10月30日 本署、指令車更新
- 12月16日 湯沢分署、はしご付消防自動車オーバーホール
- 平成16年 2月25日 大和分署、水槽付消防ポンプ自動車更新
- 4月27日 全国消防長会東北支部総会（湯沢町）
- 7月13日 新潟・福島豪雨（7.13水害）13～15日災害応援
- 10月23日 新潟県中越地震 25～31日災害応援
- 11月 1日 六日町、大和町合併し南魚沼市となる。
- 11月 1日 南魚沼郡広域連合を南魚沼地域広域連合に名称変更する。
- 平成17年 2月25日 湯沢分署、水槽付消防ポンプ自動車更新
- 4月 1日 緊急消防援助隊登録（消火隊・救助隊・救急隊各1隊）
- 9月 1日 湯沢分署、救急車更新
- 9月27日 本署、高規格救急車更新
- 10月 1日 南魚沼市と塩沢町が合併する。
- 10月25日 携帯119受信装置整備運用開始
- 11月30日 湯沢分署、自家発電設備を設置
- 平成18年 1月 6日 平成18年豪雪 市町に豪雪災害救助法適用
- 2月28日 本署、指揮隊車を配置
- 3月17日 大和分署、自家発電設備を設置
- 3月31日 南魚沼地域広域連合を解散する。
- 4月 1日 南魚沼市消防本部となる。湯沢分署を湯沢消防署に格上げ。
- 4月 1日 南魚沼市六日町消防団、南魚沼市大和消防団、南魚沼市塩沢消防団と改名する。
- 9月15日 本署、指令2号車更新
- 10月30日～平成19年2月23日 本署はしご車オーバーホール
- 11月28日 大和分署、高規格救急車へ更新
- 平成19年 4月 1日 六日町消防団、大和消防団、塩沢消防団を合併し南魚沼市消防団1団体制となる。
- 7月16日 新潟県中越沖地震 16～26日災害応援
- 8月31日 大和分署指令1号車更新
- 9月6～7日 北越急行との合同訓練 参加人員75名
- 10月 2日 県立六日町病院多数傷病者合同救助訓練 参加人員200名
- 10月14日 南魚沼市消防団秋季連合演習 六日町小学校 参加人員1,192名
- 11月28日 湯沢署、高規格救急車更新
- 平成20年 3月 7日 自治体消防60周年記念式典（日本武道館）において、南魚沼市消防団（塩沢方面隊）日本消防協会長特別表彰「まとい」受章

- 7月27日 集中豪雨（ゲリラ豪雨）発生により、城内地区、東地区内河川において河川土砂災害発生
- 8月29日 第37回全国消防救助技術大会（北九州市）初出場（引揚チーム5名）
- 10月16日 関越自動車道大和スマートインターチェンジ供用開始
- 10月23日 県立六日町病院多数傷病者合同救助訓練（参加者240名）
- 11月28日 社団法人日本損害保険協会から高規格救急自動車寄贈により本署、救急2号車を高規格救急車へ更新
- 12月22日 湯沢署、指揮隊車を配置

平成21年

- 1月25日 文化財防火訓練（鈴木牧之記念館）
- 2月17～20日 第64回トキめき新潟国体のスキー競技が南魚沼市（石打地区）及び湯沢町で開催
- 4月9～10日 新潟県消防長会春季総会（開催地：南魚沼市消防本部）
- 5月16日 新型インフルエンザ（A/H1N1）患者が国内で発生、管内では6月23日に発生し流行拡大
- 7月23～27日 フジロックフェスティバル（苗場）期間中救急隊1隊を現地（湯沢町浅貝）に常駐
- 8月20日 第38回全国消防救助技術大会（横浜市）に出場（ロープブリッジ救出チーム4名、ロープブリッジ渡過）し、2種目とも入賞
- 9月25～27日 患者等搬送事業乗務員基礎講習
- 9月27日 第64回トキめき新潟国体の自転車競技が南魚沼市で開催
- 9月28日 患者等搬送事業乗務員定期講習
- 10月2～5日 第64回トキめき新潟国体のテニス競技が南魚沼市で開催
- 10月16日 中部消防応援協定協議会を南魚沼市で開催
- 10月23日 中越大震災5周年記念追悼式（長岡市）
- 11月12日～12月4日 救急隊員のうち46名に新型インフルエンザワクチン接種

平成22年

- 1月24日 文化財防火訓練（トミオカホワイト美術館）
- 2月10日 南魚沼市消防団が日本消防協会長から表彰旗を受賞
- 6月27日 消防本部新庁舎の建設工事が始まる。
- 8月27日 第39回全国消防救助技術大会（京都市）に引揚救助チームが出場し、入賞する。（全国大会へは3年連続出場）
- 9月1日 新潟県防災訓練が魚沼市で開催、当本部より救助隊1隊が訓練参加
- 9月3日 北越急行との合同訓練 参加人員21名
- 11月5日 本署、救急予備車（高規格救急車）を更新し救急車の配置替えを実施
- 11月13日 南魚沼市・湯沢町危機管理フォーラム2010開催